

みんなのカフェ開催!

6月7日(土)、まちづくり協議会主催による「みんなのカフェ」が開催されました。ここでは、新栄ボランティアや食生活改善推進協議会の方々が作られたカレーライスが振舞われ、150人を超える参加者がありました。屋外ではスポーツ協会による「モルック」の体験会があり、多くの親子連れが楽しんでおられました。今年度3回ほど開催される予定ですが、試行錯誤しながら校区の皆さんが楽しんでいけるイベントになるとよいですね!



60歳以上のスポーツ大会!

60歳以上が対象の「ねんりんピック」が、6月22日(日)に新栄小学校体育館で開催されました。各町区から約130名の方が参加され、4種目のニュー・スポーツに挑戦しました。蒸し暑い日となりましたが、熱中症に注意しながら和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。来年もまた元気に集い合えると良いですね!



校区民ラジオ体操

夏休み初頭となる7月21日、新栄小学校グラウンドで校区民ラジオ体操が行われました。この日は朝から強い日差しが照り付けましたが、多くの子どもたちも含め、約280名の校区民が参加し気持ちの良い汗を流しました。猛暑が続く中ではありますが、健康に注意して夏を乗り切っていきたいですね!



新栄校区

社協だより

「助け合い・声かけ合い・支え合い」の地域づくり

8月号
2025年

新栄校区社会福祉協議会
佐賀市鍋島八戸1285-3
新栄公民館内

誰も孤立させないまち・新栄

【できる人が、できる時に、できる事を】

令和7年度校区社協総会を開催!

令和7年度新栄校区社会福祉協議会総会が5月10日、新栄公民館において開催されました。

総会では、事業計画や収支予算など5議案が可決・承認され、今年度の活動が開始されました。重点目標では「福祉協力員会議の充実」が掲げられ、町区ごとの連絡会議を基本に協力体制を強化していくこととなりました。

少子高齢化に伴い地域の希薄化が叫ばれる中、孤立や生活力、健康面などの不安を抱える方もおられ、そういった声に敏感に反応する力が大切になります。新栄校区で取り組んでいる見守り活動が、その不安を取り除けるよう『できる人が、できる時に、できることを』の実践をなお一層進めていくことを確認する総会となりました。



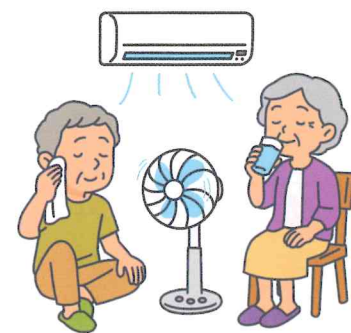
ごあいさつ

新栄校区社会福祉協議会 会長 池田 正 弘

5月の総会におきまして、引き続き2期目の会長にご承認いただきました池田正弘です。新栄校区の皆様には、日頃より校区社協の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、新栄校区で取り組んでいます見守り活動も今年度で10年を迎えます。福祉協力員を経験される方も2回目となる方もおられると思います。少しずつではありますが、活動も定着し地域の皆さまの意識も高まってきているのではないのでしょうか。これから更に少子高齢化が進んで行く中、地域課題の多様化が懸念されます。見守り活動を通して「助けあい・声かけ合い・支え合い」の地域づくりを目指して、地域住民が協力し合い、安全で安心して暮らせるまちにして参りましょう!

今年は梅雨明けも驚くほど早く、6月下旬から猛暑が続く異常な気候となっています。冷房器具ももはや生命維持装置と言われるほどに熱帯化しています。こまめに水分補給を行うなど熱中症対策に心がけて乗り切っていきたいと思います。更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和7年度 校区社協重点事業

①福祉協力員活動の推進

- ・町区で班長または班代表者を福祉協力員として選任し、遠見での見守り活動を展開する。
- ・自治会長、民生委員、福祉推進委員、福祉協力員による福祉協力員会議を開催し、見守り活動の情報共有を行う。

②見守り・支え合い月間(5月、10月)の推進

- ・見守り旗の掲揚並びに見守りチラシを全戸に配布し、意識向上を図る。
- ・チラシ「いざという時のために」の記入及び掲示運動を推進する。

③福祉推進委員会議の充実

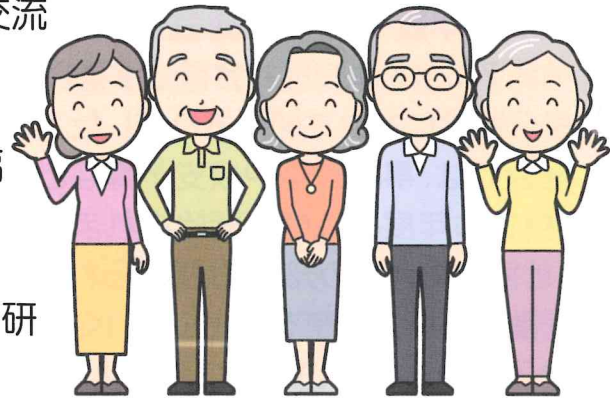
- ・年4回、福祉推進委員会議を開催し、研修・交流を行う。

④新栄見守りネットワークの推進

- ・町区における個別見守り体制づくり及び福祉名簿の作成を推進する。

⑤校区内各種団体との連携強化

- ・自治会、民生委員、校区社協役員による合同研修会を開催し、情報の共有・連携を図る。



社協活動へのご協力、よろしくお願いします

2025年度 福祉推進委員

緑 小 路	鶴 田 美知子
天 祐 1 丁 目	香 月 聡 美
天 祐 団 地	柴 田 直 江
天 祐 2 丁 目 東	百 崎 芳 弘
天 祐 2 丁 目	秋 山 芳 美
天 祐 北	斧 本 清 美
新 生 町	中 尾 良 二
八 戸 東	小 田 綾 子
八 戸 上	本 山 栄 造
新 栄 北	渡 辺 勝
新 栄 団 地	橋 崎 英 樹
八 戸 西	江 口 美穂子
八 戸 北	桑 原 紀 子
坂 井	川内丸 邦 子
坂 井	増 岡 恵 子
深 町	大 坪 トシ子

2025年度 本部役員

会 長	池 田 正 弘
副 会 長	伊 東 照 俊
副 会 長	陣 内 修
副 会 長	光 岡 悦 子
副 会 長	宮 原 和 子
副 会 長	小 柳 一 浩
副 会 長	江 口 利 朗
副 会 長	市 丸 眞 子
庶 務 ・ 会 計	鶴 典 之
監 事	立 川 弘 子
監 事	本 山 栄 造
顧 問	田 中 喜久子
相 談 役	杠 輝 夫

出来る人が
出来る時に
出来ることを



校区社協研修会開催!

テーマ【みんなで安心安全な地域に!】

5月10日、校区社協総会に先立ち福祉推進委員研修会を開催しました。これには自治会長、民生委員の皆様にもご参加いただき、講師には、嘉瀬校区社会福祉協議会の時尾久美子氏をお招きし、「みんなで安心安全な地域に」をテーマに講演をして頂きました。

はじめに福祉協力員の活動について、見守りの対象は一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方、災害時の要支援者、少し気になる子供等、遠目の見守りを中心に行い、異変に気付いたときは自治会長や民生委員等に連絡すること。毎年見守り活動を続けていく中で、地域に福祉の眼が増えていることを実感しているとの話がありました。

また、講師が防災士の資格をお持ちであることから防災についての講演があり、その中で個別避難計画の重要性についてお話がありました。先ず、市が発令する避難情報に注意をはらい、事前に「いつ、どこへ、誰と、どうやって避難する」かを家族で決めておくことが重要であるとともに、一人暮らし等の支援が必要な方の避難計画を事前に作成することも必要とのことでした。

さらに、「高齢者等避難」(レベル3)でスムーズに避難行動ができる自宅避難についても、備蓄品等を備えておくこと。レベル3では避難所で避難物資の提供はないので、水や食料を準備をしなければならない。

災害が発生すると住民の安否確認が必要になり、自治会長や民生委員だけでは全員の確認は不可能で、そこに福祉協力員等で安否確認ができる組織にしていくことが望ましいとのことでした。

近年、全国でゲリラ豪雨が発生し多くの被害が出ており、自分の身は自分で守ることを原則にしながらも、地域においては日頃からの見守り活動を通し、声を掛け合う隣近所の関係づくりを作っていくことが重要だと感じました。



歳末助け合い共同募金 ご協力ありがとうございます!

年末地域福祉交流事業は、歳末助け合い共同募金の一部配分金で実施されています。

(株)シグマ	小松歯科	サカイ引越センター佐賀支社	新栄子供クリニック
マジックスファクトリー		佐賀市浄化槽管理事業協同組合	陣内胃腸科・内科
三球電機佐賀支店		天祐SS小柳石油	祐徳建設興業
(有)はと交通		コープさが新栄店	佐賀県産業医学協会
ミサワホーム佐賀		池田デンタルクリニック	内川商事

赤い羽根共同募金

《皆さまの真心に感謝!!》

10月4日(土)に新栄公民館で開催された「みんなのカフェ」の会場内において、校区社協による歳末助け合いの共同募金を行いました。会場を訪れた多くの皆さまの心温まるご協力に感謝いたします。



校区社協研修を実施!有田町社会福祉協議会を訪問しました!

令和7年11月21日、校区社協、福祉推進委員、自治会長など20名が参加し、有田町社会福祉協議会の取り組みを視察研修しました。焼き物の町として有名な有田町は、人口約1万8千人で、65歳以上の高齢者は36.4%と高い比率となっています。

今回の研修では「終活支援ハッピーエンディングサポート事業」についての研修を行いました。「ハッピーエンディングサポート」とは、高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯の方が抱える、「もし私に万が一のことがあったら…」という心配や不安に寄り添い、安心して「人生のエンディング」を送ることが出来るよう、事前に預託金を預かり、葬儀、家財処分等のサービスを実施することです。あくまでも高齢者の意思決定を支援することが目的であります。事業を利用できる方は、有田町に居住する65歳以上の方で、契約能力を有する方、日常的に支援できる親族がいない、生活保護を受給していない方が対象となっています。

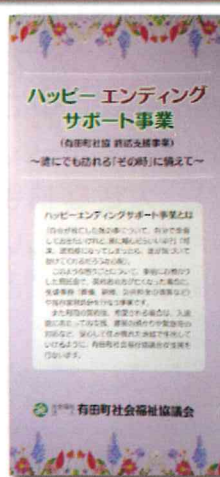
事業の流れは、①パンフレット等での概要説明、②希望のサービスや見積もり、遺言の作成等の支援計画を作成する、③契約にあたって、審査委員会にて専門家の意見を聞き可否の決定、④計画に基づいたサービスを実施、といった手順を踏んでいきます。

基本的な利用料金としては、相談や支援計画作成は無料ですが、契約後は葬儀の実施や必要経費の支払い、残存家財の処分を行うため預託金を預けることになります。預託金は、50万円以上が必要で、年会費も1万2千円が掛かるとのことでした。また、入退院時の付き添いや荷物の整理、通帳や保険証書などの貴重品の預かり、緊急時対応サービスなどが必要な場合は、それぞれに応じた費用も掛かるようです。

この事業、令和3年に県のモデル事業として実施され、翌年から本格的に始まったとのこと、現在までに2名の契約が成立しているとのこと、契約者からは「安心して生活できるようになった」「生活に余裕ができた」等の声が寄せられているとのことでした。

今後の展望としては、長期的支援が必要になる事や、様々な人や機関との連携が必要になるため、慎重かつ柔軟に利用者それぞれの意思に寄り添った支援が必要になる。単に、利用者の死後事務、終活支援事務を行うのではなく「社協に任せてよかった」と思ってもらえるような事業展開を目指したいと力強く語られていました。

スタートしたばかりの事業ということで、まだまだ様々な課題を抱えながらの事業のようでしたが、「もし、自分に万が一のことがあったら…」という心配を抱える高齢者の方から増加傾向にあり、これらの解決のために佐賀市社協も終活に関する事業に今後取り組んでいく計画もあり、新栄校区社協としても様々な形で地域の声を聞いていかなければならないと感じた研修となりました。



新栄校区

社協だより

「助け合い・声かけ合い・支え合い」の地域づくり

2月号
2026年

新栄校区社会福祉協議会
佐賀市鍋島八戸1285-3
新栄公民館内

福祉推進委員研修会を開催!

大変勉強になりました!!

11月29日(土)、新栄公民館において福祉推進委員研修会を開催し、「認知症について」の研修を行いました。講師には、おたっしや本舗昭栄から松田由美子認知症地域支援推進員をお招きし講演をいただきました。

日本における認知症の高齢者数は年々増え続け、2022年の段階で約443万人存在し、2040年には584万人で6.7人に1人といわれています。さらに昨年に発表された資料では、核家族化や高齢化が進んだことで、一人暮らしをする65歳以上の認知症高齢者の数は増加傾向にあり、2025年には約121万人、2040年には約168万人に達すると予測されています。佐賀市でも昨年3月時点で65歳以上の認知症の人は8,017人で8人に1人になっていると報告されています。

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、重点目標として「新しい認知症観」が提起され、理解促進が呼びかけられています。これまでの認知症観は「認知症になるとできることがなくなる」「介護を受けないと生活が続けられない」といったものでした。「新しい認知症観」とは「認知症になってもやりたいことやできることはあり、住み慣れた地域で仲間などつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けられる」という考え方です。

例えば、これまでは「本人はわからない、何もできない」「本人は話せない、声を聞かない」と見ていたことから、「本人もわかること、できることが豊富にある」「本人は声を出せる、声を聞く」と認識することであり、他人事ではなく、わが事として考えてみようということです。

松田先生はこれらのことを通し、様々な相談事から実際に昭栄校区で起こった事例を紹介され、「認知症と診断されても、これまでと変わらず生活できます。認知症だから何もできなくなると思わず、色々な人とながりをもって、自分らしく生きていく方法を見つけることが大事。そのためには周りの方たちの支えが必要です」と語られていました。





年末年始地域福祉交流事業



クリスマス・イルミネーション

新栄校区の皆様に明るい希望と元気を届けたいと、新栄公民館にクリスマス・イルミネーションの飾付けが行われました。公民館やまちづくり協議会の全面的な協力のもと、12月9日から1月13日まで幻想的な輝きが校区民の心を和ませました。初日には新栄保育園の園児による点灯式が行われ、一足早いクリスマスの雰囲気を楽しみました。期間中は、多くの校区民が訪れ、幻想的なイルミネーションを楽しみました。



ふれあい餅つき大会

「新栄ふれあい餅つき大会」がまち協育成部会主催のもと、12月21日に開催され、各種団体の役員をはじめ、子どもたちやその保護者など約200名が参加して執り行われました。

杵で餅を搗く場所では、順番を待つ子供たちが列をつくり、一緒に大きな掛け声をかけるなど、会場いっぱいに歓声が広がっていました。

搗き立ての餅は、新栄ボランティアや食改善グループの皆さんで雑煮を作ってください、皆さんで美味しくいただきました。また、民生委員を通じて、80歳以上の一人暮らしのお宅にも届けられました。

役員の皆さま、本当にお疲れ様でした!!

餅つきは
楽しかったし、
お雑煮も
美味しかったです!



ほんげんぎょう

新年の伝統行事で一年の無病息災などを願う「ほんげんぎょう」が1月11日、新栄公民館西側の田んぼをお借りして行われました。

時折雪が舞う寒さの中、午前7時半に竹やわらで組み上げられたやぐらに火がつけられ、朝空に勢いよく燃え上がりました。参加者は、正月の役目を終えたため飾りやお札を持ち寄り火の中に投げ入れ、平和な一年であることを祈りました。

その後、地域の皆さんに用意していただいた「おしるこ」が振舞われ、心も体も温まる一日となりました。



ふれあいグラウンドゴルフ

1月10日、校区内の子供たちやその保護者、地域の方々約150人が集い「ふれあいグラウンドゴルフ大会」が新栄小学校グラウンドで開催されました。グラウンドでは和やかな雰囲気の中にも真剣な戦いが繰り広げられ、大きな歓声が飛び交っていました。優勝は天祐北チーム、準優勝は八戸上Bチームで、ホールインワンも3人の子どもたちが達成し、大きな拍手が寄せられ楽しい時間を過ごすことが出来ました。

楽しかったです!



チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	合計
天祐北	105	107	108	109	110	111	112	113	114	115	1150
八戸上B	106	108	109	110	111	112	113	114	115	116	1150
八戸上A	107	109	110	111	112	113	114	115	116	117	1150
八戸上C	108	110	111	112	113	114	115	116	117	118	1150
八戸上D	109	111	112	113	114	115	116	117	118	119	1150
八戸上E	110	112	113	114	115	116	117	118	119	120	1150
八戸上F	111	113	114	115	116	117	118	119	120	121	1150
八戸上G	112	114	115	116	117	118	119	120	121	122	1150
八戸上H	113	115	116	117	118	119	120	121	122	123	1150
八戸上I	114	116	117	118	119	120	121	122	123	124	1150
八戸上J	115	117	118	119	120	121	122	123	124	125	1150

高齢者ふれあい会食会

11月18日、新栄ボランティアの皆さんによる「高齢者ふれあい会食会」が開催されました。75歳以上の一人暮らし、80歳以上の二人暮らしの方を対象に手作りの食事が振舞われました。またこの日は、新栄小学校の一年生が歌と楽器を使った演奏を元気よく披露してくれ、参加者も一緒に口ずさんで喜んでもらえました。皆さま、ありがとうございました。

